

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和2年 10月 15日

兵庫県知事 殿

提出者

住所 兵庫県たつの市龍野町中井236

氏名 ナガセケムテックス株式会社
播磨事業所長 岩崎 浩之

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 0791-63-9084

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	ナガセケムテックス株式会社 播磨事業所
事業場の所在地	兵庫県たつの市龍野町中井236
計画期間	令和2年4月1日から令和3年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項 別紙1, 2のとおり	
①事業の種類	
②事業の規模	
③従業員数	
④産業廃棄物の一連の処理の工程	

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項	別紙 1, 2 のとおり
(管理体制図)	

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項	別紙 1, 2 のとおり		
①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項	別紙 1, 2 のとおり
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

別紙1, 2のとおり

①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

別紙1, 2のとおり

①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項 **別紙1, 2のとおり**

①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

別紙1, 2のとおり

①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】	別紙1, 2のとおり	
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙1(廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画書)

現状：前年度(令和1年度)実績量
計画：今年度(令和2年度)計画量

単位:トン/年

産業廃棄物の種類	排出抑制に関する事項		自ら行う再生利用に関する事項		自ら行う中間処理に関する事項				自ら行う埋立処分等に関する事項		処理委託に関する事項										
	排出量 (前年度実績値の①)		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の②+⑧)		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の⑤)		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量 (前年度実績値の⑦)		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の③+⑨)		全処理委託量 (前年度実績値の⑩)		優良認定処理業者への処理委託量 (前年度実績値の⑪)		再生利用業者への処理委託量 (前年度実績値の⑫)		認定熱回収業者への処理委託量 (前年度実績値の⑬)		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 (前年度実績値の⑭)		
	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	
0100燃え殻																					
0200汚泥	4698	4698	0	0	0	0	0	0	0	0	4698	4698	1483	1483	842	842	16	16	3839	3839	
0300廃油	102	102	0	0	0	0	0	0	0	0	102	102	101	101	0	0	39	39	63	63	
0400廃酸	200	200	0	0	0	0	0	0	0	0	200	200	200	200	0	0	0	0	200	200	
0500廃アルカリ	4261	5010	0	0	0	0	0	0	0	0	4261	4261	3639	3639	0	0	0	0	4261	4261	
0600廃プラスチック類	45	45	0	0	0	0	0	0	0	0	45	45	31	31	14	14	28	28	2	2	
0700紙くず																					
0800木くず	21	21	0	0	0	0	0	0	0	0	21	21	21	21	21	21	21	21	0	0	
0900繊維くず																					
1000動植物性残渣																					
1100ゴムくず																					
1200金属くず	65	65	0	0	0	0	0	0	0	0	65	65	0	0	65	65	0	0	0	0	
1300ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	8	8	0	0	0	0	0	0	0	0	8	8	8	8	0	0	0	0	8	8	
1400鉱さい																					
1500がれき類																					
1600動物のふん尿																					
1700動物の死体																					
1800ばいじん																					
2500水銀使用製品産業廃棄物(以下、含まれる産業廃棄物)	0.2	0.2	0	0	0	0	0	0	0	0	0.2	0.2	0.2	0.2	0	0	0	0	0	0	
合計	9400.2	10149.2	0	0	0	0	0	0	0	0	9400.2	9400.2	5483.2	5483.2	942	942	104	104	8373	8373	

別紙2（廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画書）

1 当該事業場において行っている事業に関する事項

①事業の種類	1639（その他の有機化学工業製品製造業）
②事業の規模	製品売上高 約181億円（平成30年度実績）
③従業員数	600名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別添1とおりのり

2 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項（管理体制図等、別紙を参照）

最終ページ参照

3 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	（これまでに実施した取組） <ul style="list-style-type: none"> ・製造工程時不良品量を削減し、産業廃棄物発生量を削減させる ・リサイクル活動を展開する
②計画	（今後実施する予定の取組） <ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物の内部処理技術検討 ・資源リサイクルの推進 ・環境にやさしい開発テーマの推進 ・環境に配慮した工程改良への取組み

4 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） <ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物発生元からの分別化 ・各産業廃棄物置場の分別化
②計画	（今後、分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

5 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) ・特になし
②計画	(今後実施する予定の取組) ・特になし

6 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) ・特になし
②計画	(今後実施する予定の取組) ・特になし

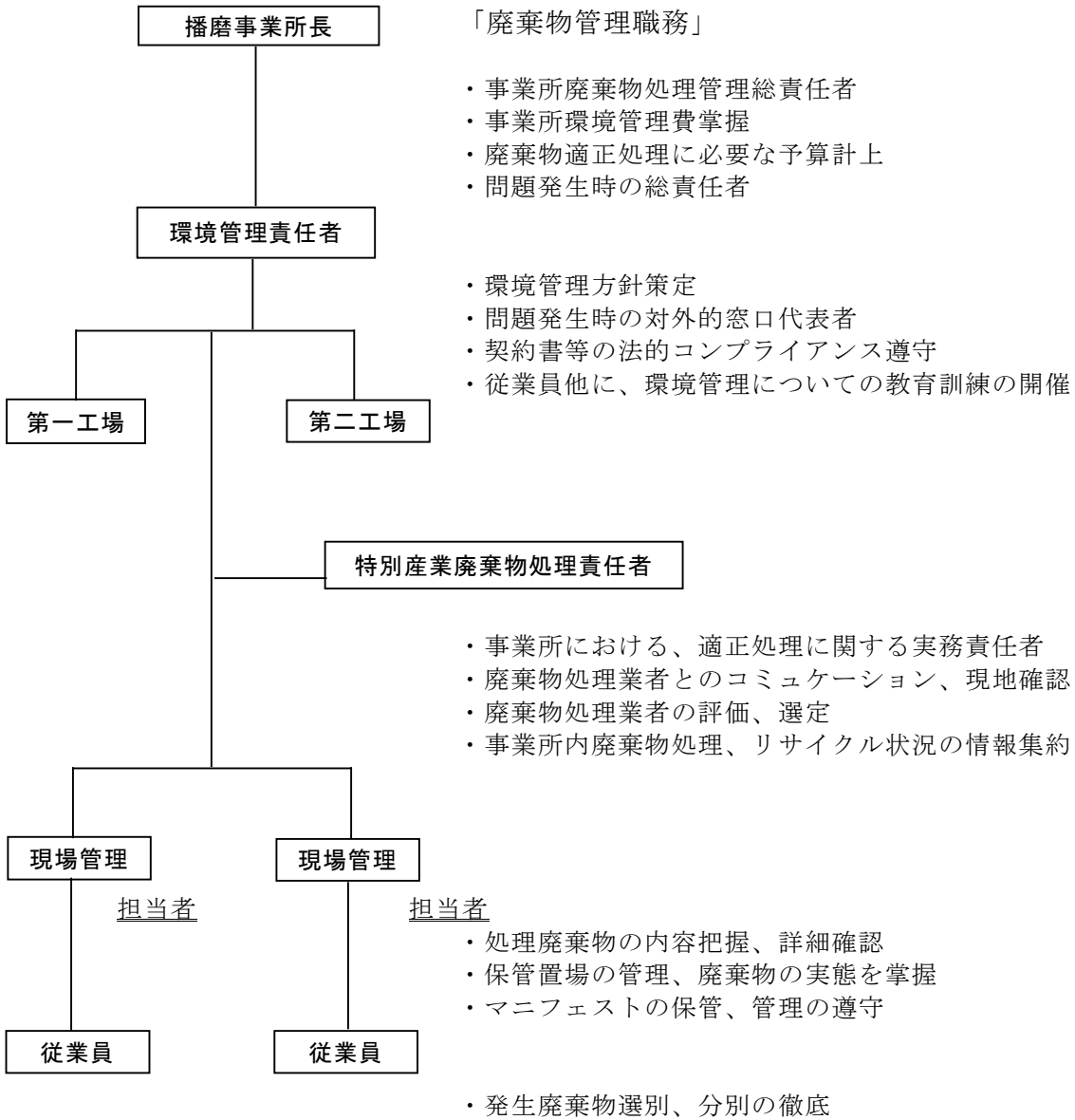
7 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) ・特になし
②計画	(今後実施する予定の取組) ・特になし

8 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

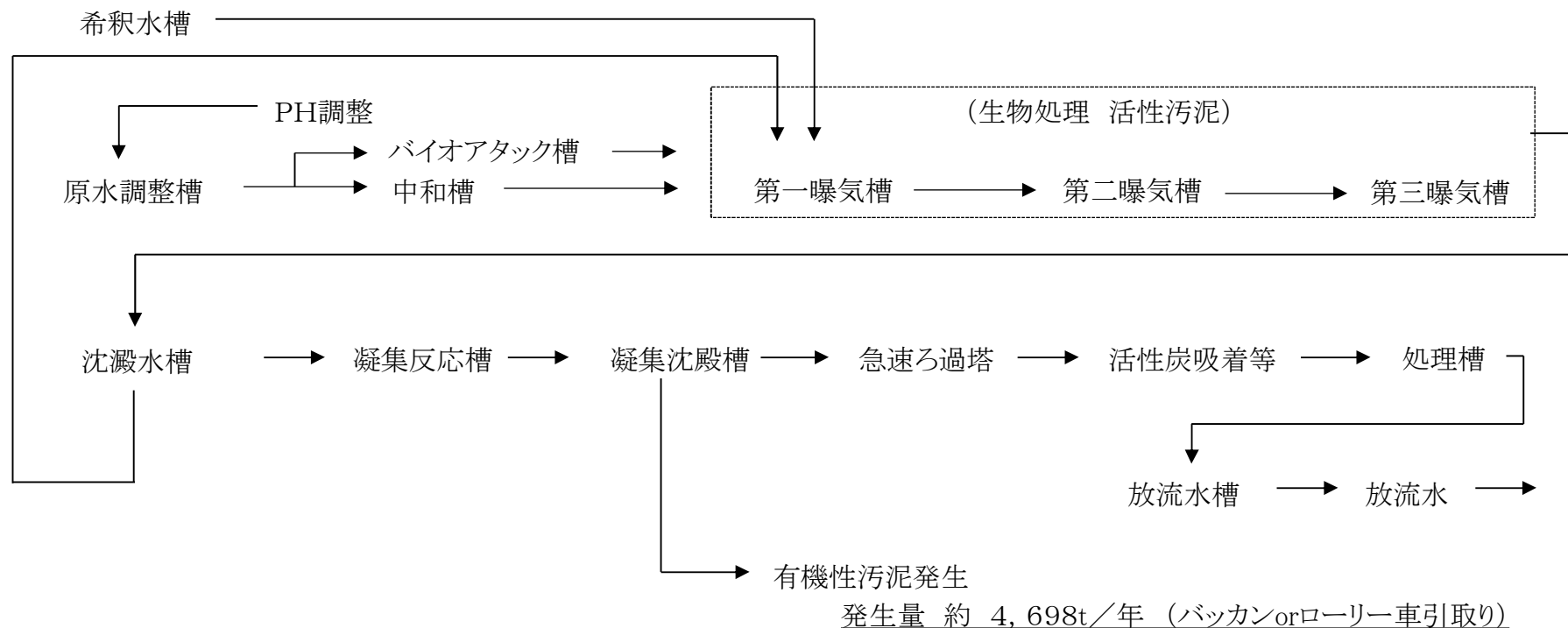
①現状	(これまでに実施した取組) ・製造工程を改良し、産業廃棄物発生量の削減に努める ・産業廃棄物の分別を推進し、適正処理を行う
②計画	(今後実施する予定の取組) ・リサイクル活動を継続維持する ・原材料に配慮し、開発段階より環境負荷の低減まで配慮した製品設計を行う

管理体制図の例



汚泥(有機性) 産業廃棄物排出経路図

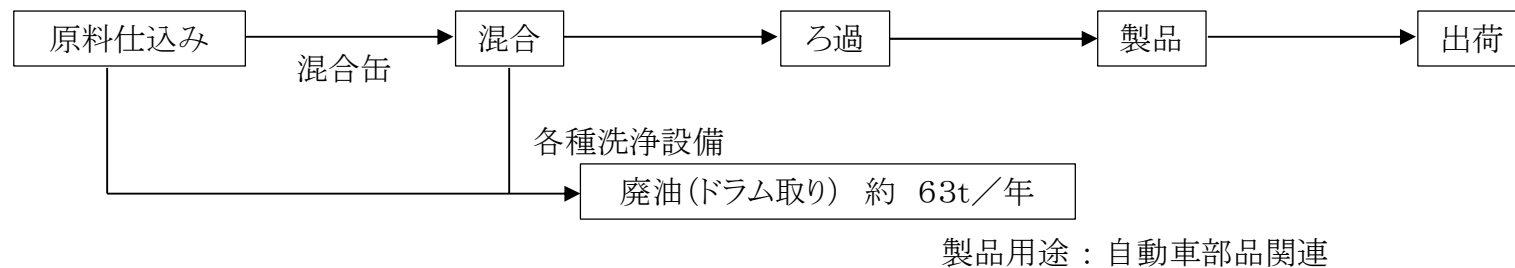
排水水処理設備場



- ・汚泥(有機性) → 収集運搬(サンワ技研) → 焼却(住友大阪セメント)
- ・汚泥(有機性) → 収集運搬(クリーン湯ノ内) → 混合焼却(新日本開発・住友大阪セメント・エコシステム山陽)
- ・汚泥(有機性) → 収集運搬(クリーン湯ノ内) → 混合焼却(岡山鉱油)

- ・焼却残渣は、コンクリート原料として再利用(委託:住友大阪セメント)
- ・焼却残渣は、管理型処分場に埋め立て処分(委託:財団法人岡山県環境保全事業団)

廃油 産業廃棄物排出経路図

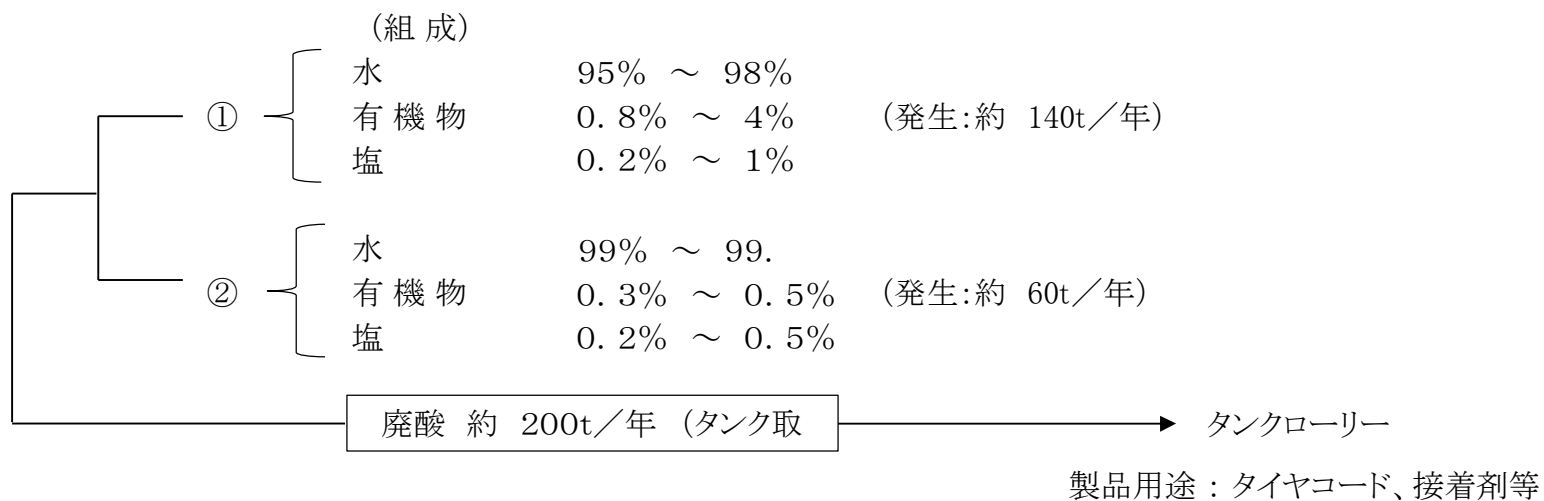
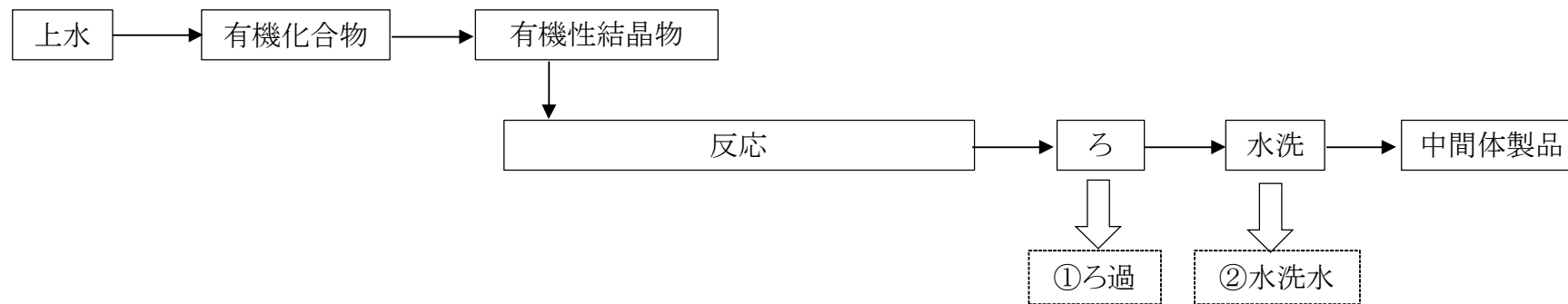


主原材料	有機混合物
・アルキルベンゼンスルホン酸	30%
・石油留分	50%
・その他	20%

- ・廃油 → 収集運搬(サンワ技研) → 焼却(住友大阪セメント)
- ・廃油 → 収集運搬(クリーン湯ノ内) → 焼却(エコシステム山陽)

・焼却残渣は、コンクリート原料として再利用(住友大阪セメント)

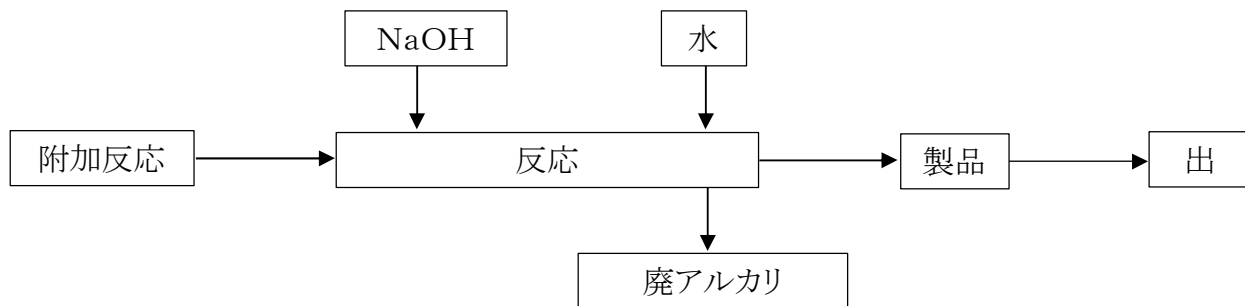
廃酸 産業廃棄物排出経路図



•廃酸 → 収集運搬(クリーン湯ノ内) → 焼却(エコシステム山陽)

•焼却残渣は、管理型処分場に埋め立て処分(委託:財団法人岡山県環境保全事業団)

廃アルカリ 産業廃棄物排出経路図

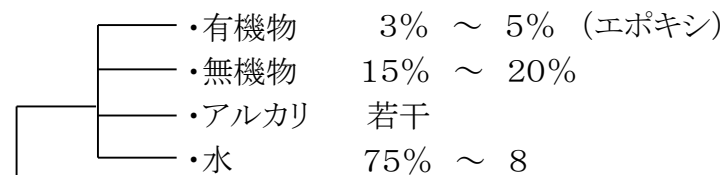


原材料 有機混合物

・有機化合物

・触媒

・アルコール類 有機物



廃アルカリ 約4,200t/年 (貯槽取り)

タンクローリー

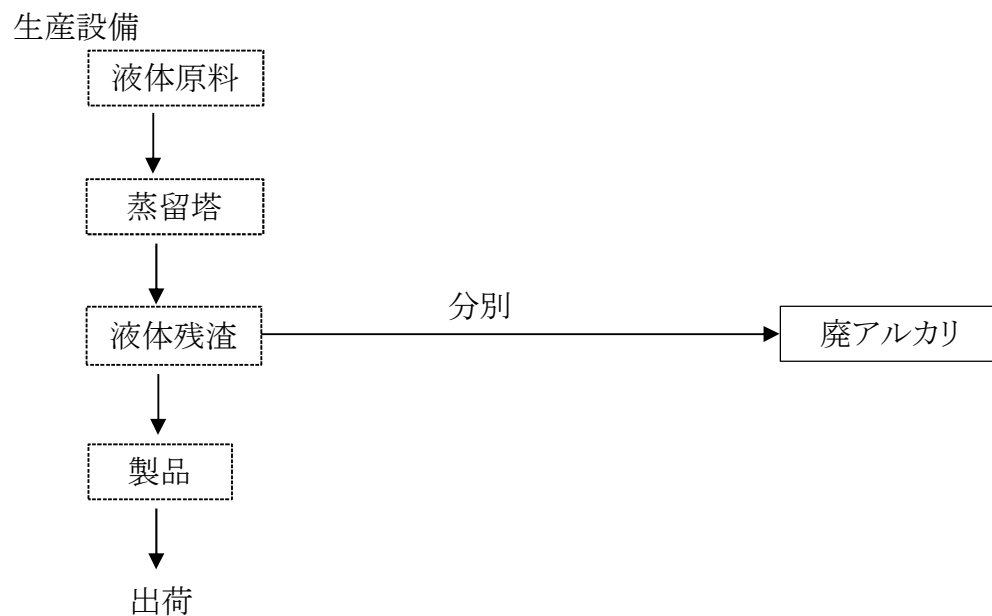
製品用途：エポキシ樹脂関連(接着剤他)商品

- | | | | | |
|--------|---|--------------------|---|----------------|
| ・廃アルカリ | → | 収集運搬(サンワ技研) | → | 焼却(ツネイシカムテックス) |
| ・廃アルカリ | → | 収集運搬(クリーン湯ノ内) | → | 焼却(エコシステム山陽) |
| ・廃アルカリ | → | 収集運搬(アイザックトランスポート) | → | 焼却(アイザック) |

・焼却残渣は、管理型処分場に埋め立て処分(委託:財団法人岡山県環境保全事業団)

廃アルカリ 産業廃棄物排出経路図

製品用途 : 剥離剤等
発生料 : 廃アルカリ 約 62t/年



- ・廃アルカリ → 収集運搬(クリーン湯ノ内) → 焼却(新日本開発)
- ・焼却残渣は、管理型処分場に埋め立て処分(委託:大阪湾広域臨海環境整備センター)

廃プラスチック類等 産業廃棄物排出経路図

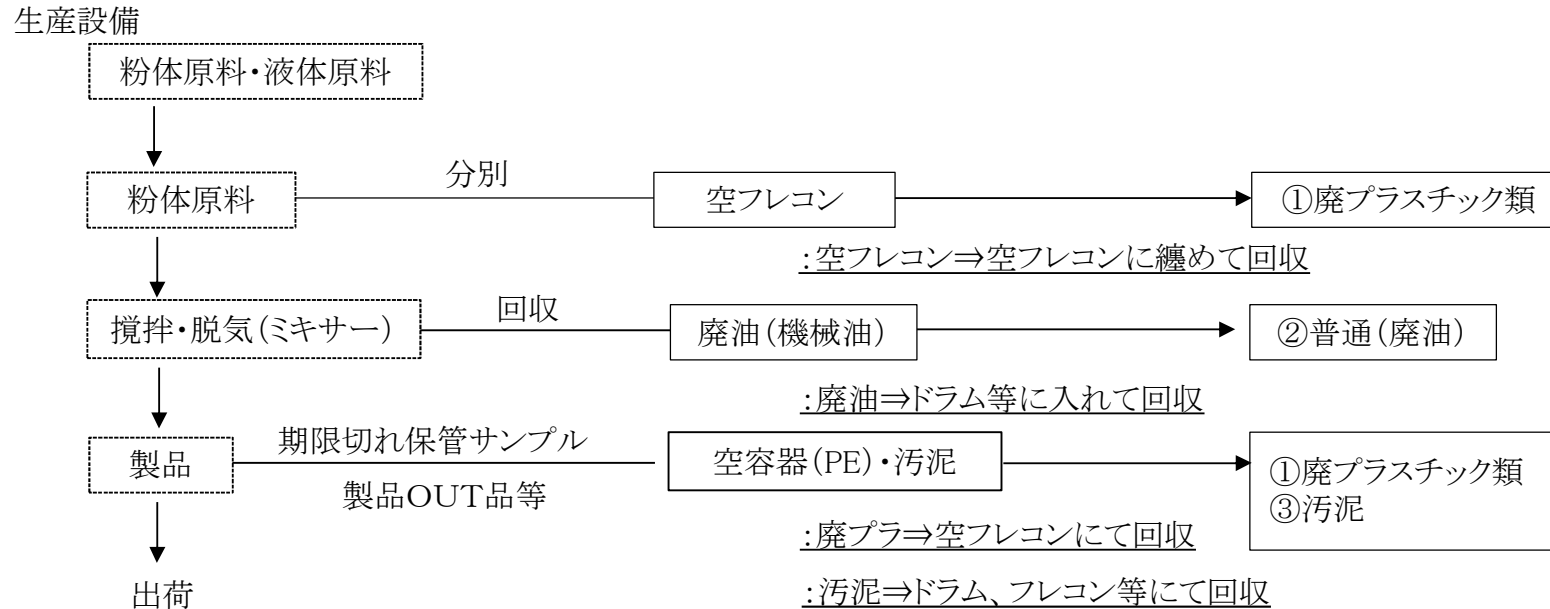
- ① 廃プラスチック類
- ② 普通(廃油)
- ③ 汚泥

製品用途 : エポキシ樹脂/接着剤等

発生料 : 廃プラスチック類 約 45t/年

廃油(普通) 約 102t/年

汚泥 約 16t/年



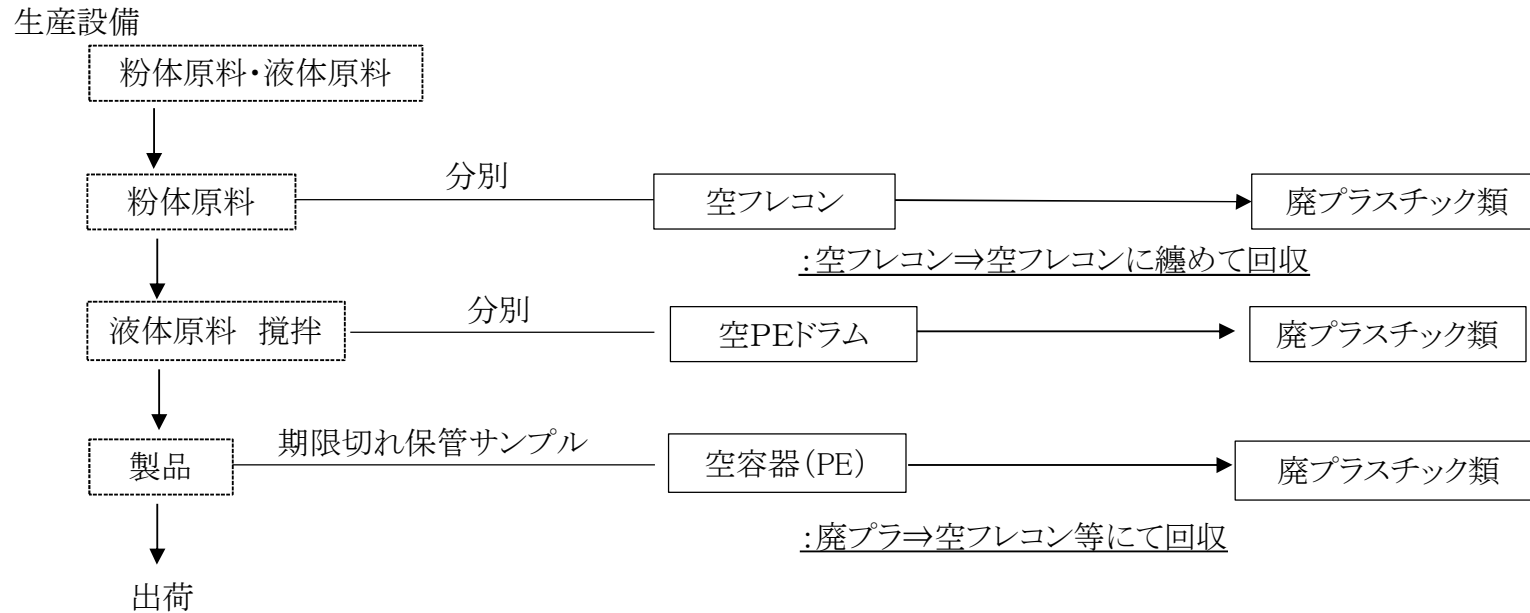
- | | | | | |
|-------------------|---|---------------|---|-------------------|
| ① <u>廃プラスチック類</u> | → | 収集運搬(クリーン湯ノ内) | → | 焼却(西播商事) |
| <u>廃プラスチック類</u> | → | 収集運搬(JRC) | → | ペレット化有価販売(幸伸商事) |
| ② <u>廃油(普通)</u> | → | 収集運搬(クリーン湯ノ内) | → | 焼却(西播商事) |
| ③ <u>汚泥</u> | → | 収集運搬(クリーン湯ノ内) | → | 焼却(西播商事・エコシステム山陽) |
- ・ 焼却残渣は、管理型処分場に埋め立て処分(委託:大阪湾広域臨海環境整備センター・財団法人岡山県環境保全事業団)

廃プラスチック類 産業廃棄物排出経路図

プラスチック類

製品用途 : エポキシ樹脂/剥離剤等

発生料 : 廃プラスチック類 約 45t/年

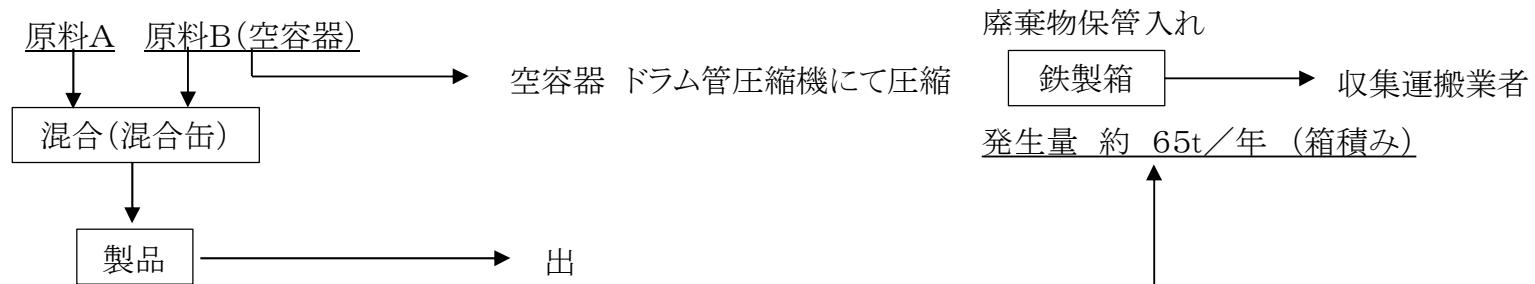


- ・廃プラスチック類 → 収集運搬(川瀬産業・石田運輸) → ペレット化有価販売(川瀬産業)
- ・廃プラスチック類 → 収集運搬(クリーン湯ノ内) → 焼却(エコシステム山陽)

・焼却残渣は、管理型処分場に埋め立て処分(委託:財団法人岡山県環境保全事業団)

金属屑 産業廃棄物排出経路図

1) 生産設備の製造



2) その他



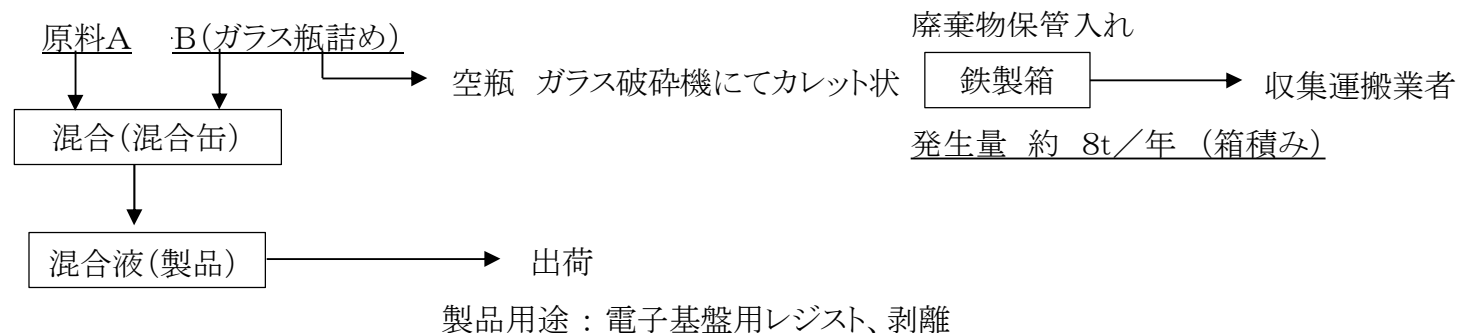
3) 注意

空鉄容器等は、残液をきれいに取り除き且つ必要に応じて分別後に圧縮を行う

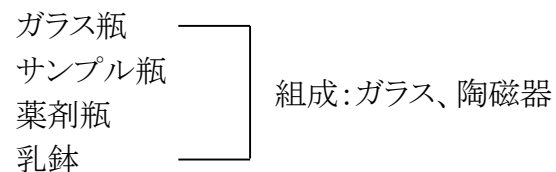
- 金属屑 → 収集運搬(クリーン湯ノ内) → 破砕 鋼材原料(マキウラ鋼業)
- 金属屑 → 収集運搬(JRC) → 破砕 鋼材原料(SMC)

ガラス屑及び陶磁器屑 産業廃棄物排出経路図

1) 剥離剤・洗浄剤等の製造



2) その他



3) 注意

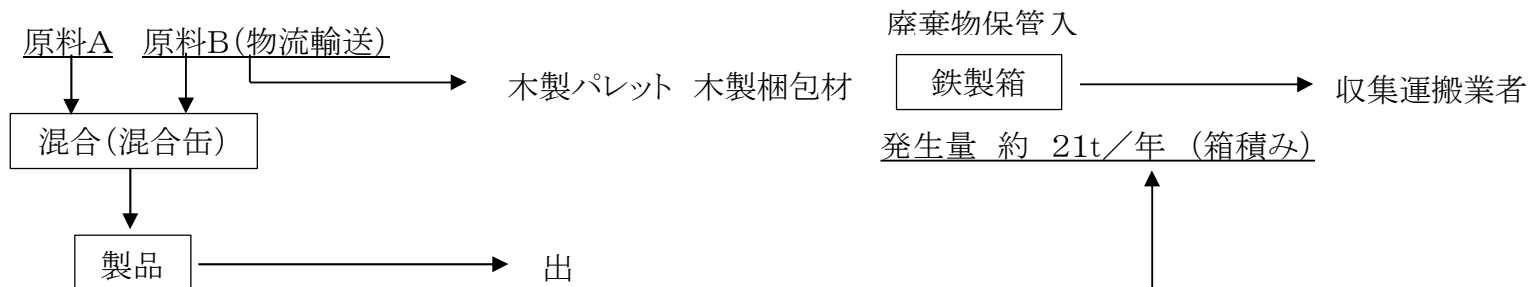
ガラス瓶等は、残液をきれいに取り除き且つ必要に応じて洗浄後に破砕を行う

・ガラス屑及び陶磁器屑 → 収集運搬(クリーン湯ノ内) → 焼却(エコシステム山陽)

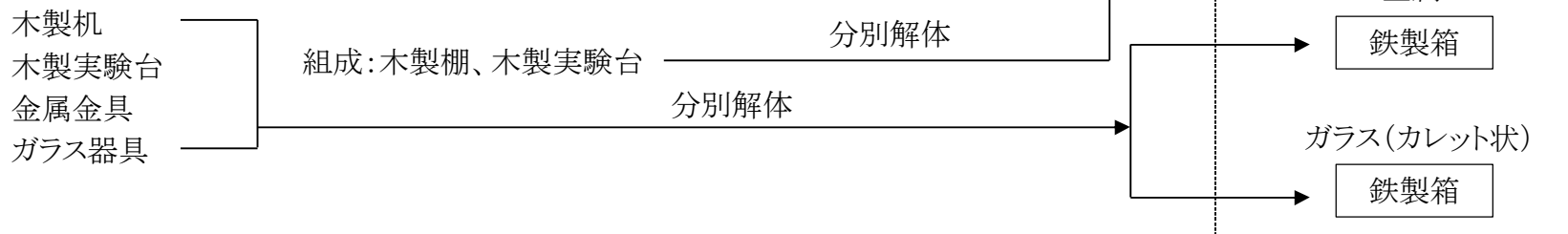
・焼却残渣は、管理型処分場に埋め立て処分(委託:財団法人岡山県環境保全事業団)

木屑 産業廃棄物排出経路図

1) 生産設備の製造



2) その他



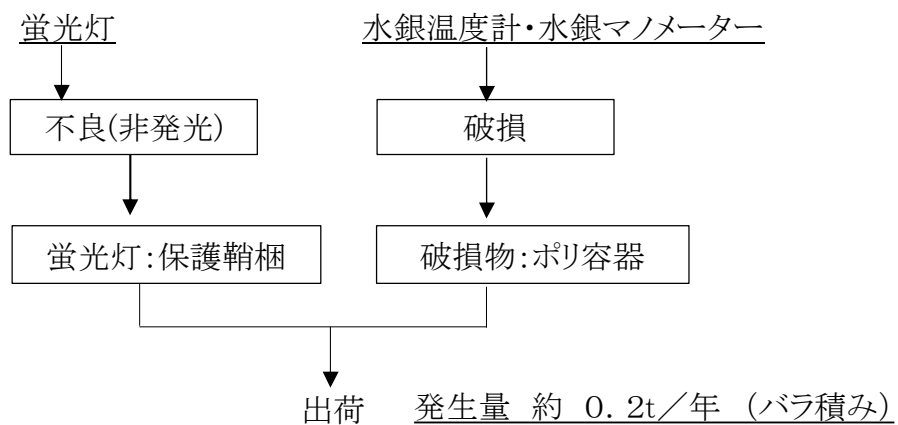
3) 注意

木製パレットは、付着液をきれいに取り除き且つ必要に応じて水洗い後に鉄製箱に入れる
付属する金属類・ガラス類は、分別して別の鉄箱に入れる

・木屑 → 収集運搬(クリーン湯ノ内) → 木材ペレット化(西播環境整備)

水銀使用製品廃棄物 産業廃棄物排出経路図

1) 事業所内



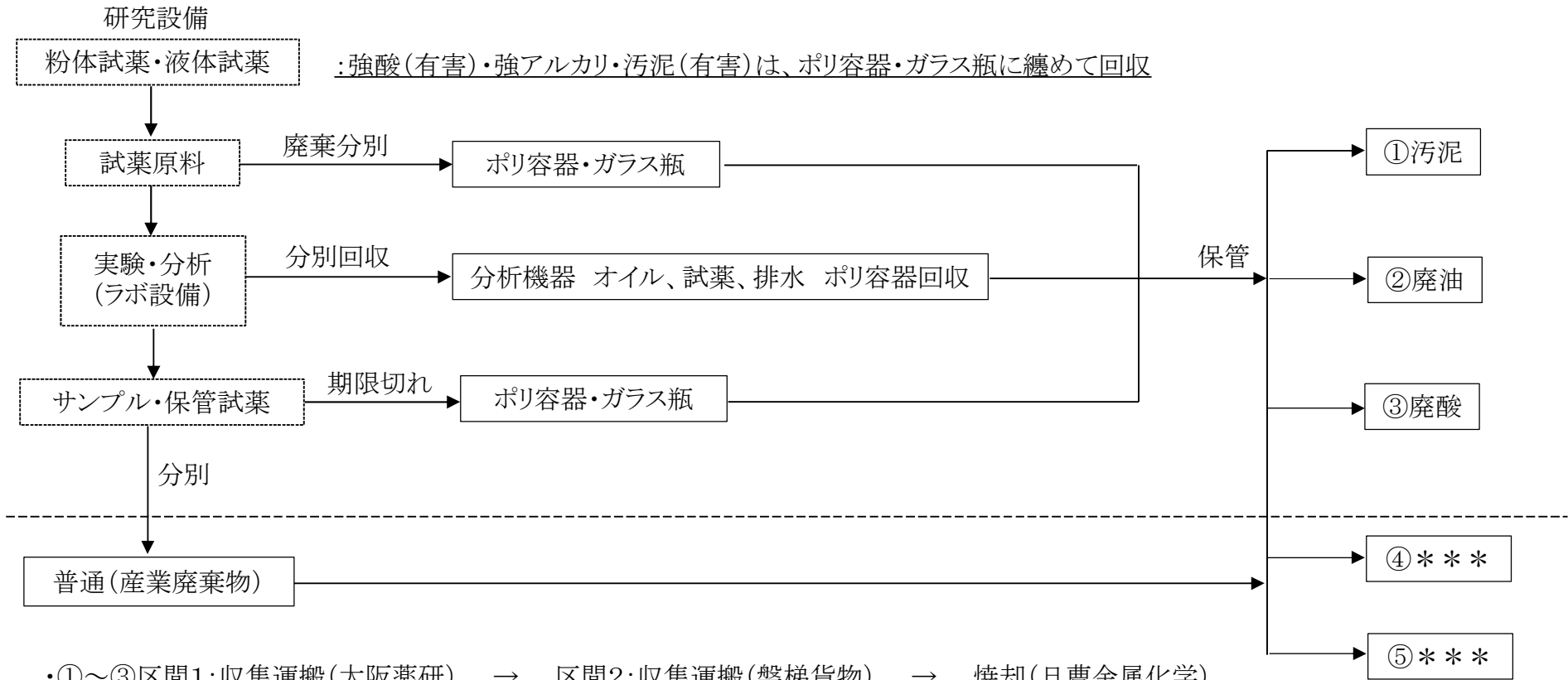
- ・水銀使用製品廃棄物 → 区間1収集運搬(クリーン湯ノ内) → 積替保管・区間2収集運搬(興隆産業)
- 固化埋立(野村興産)

ラボ関係 産業廃棄物排出経路図

- ① 汚泥
- ② 廃油
- ③ 廃酸
- ④ ***

製品用途 : 分析/検査/実験

発生料 :	①汚泥	約 -t/年
	②廃油	約 -t/年
	③廃酸	約 -t/年
	④***	約 -t/年



・①～③区間1: 収集運搬(大阪薬研) → 区間2: 収集運搬(磐梯貨物) → 焼却(日曹金属化学)

・収集運搬(アイザックトランスポート) → 焼却(アイザック)